

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス新町教室		
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度が高い	日々の活動の中で自由時間や運動だけではなく、学習の時間を設けることで宿題を終わらせる。夏休みや冬休みなどの長期休み時に工場見学などの外出イベントや教室内での調理イベント、クリスマス会などの季節のイベントを実施している。	平日の活動については、利用者の成長発達に合わせた難易度や設定を考慮して計画していく。長期休み時は季節の行事やイベントは継続していく。
2	活動プログラムが充実している	活動の主体となる運動あそびでは毎日異なる運動内容を提供し、心身ともに成長できるようひとり一人に合わせた支援を行っている。また学習時間を設けて宿題のフォローをしたりイベントや自由時間を設ける中で他児とのコミュニケーションをとる機会がある。	研修や会議等を通して運動内容のバリエーションを増やし、活動内容の充実を図る。同様にイベントや自由時間の内容、提供物等を検討していく。
3	活動スペースが十分に確保され、活動に合わせた空間となっている	活動の主体となる運動あそびにおいてスペースを広く取ることができるメリットを生かしバリエーションを豊富に運動の内容を提供できる。自由時間において同じ玩具を使用する際に利用者同士の距離感に余裕をもって活動をすることができる。	広い活動スペースを生かして新たな活動を考案していく。運動用具や玩具、提供物を利用者が安心安全に使用出来るように日々の点検、清掃、消毒等を怠らないようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が不足している	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもとコンタクトを取る機会、時間がない。	長期休みなど比較的時間がとりやすい時期に放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもとコンタクトを取れる時間を調整する。
2	保護者と事業所との交流する機会が少ない	共働きの保護者の方などに対して交流をする時間を確保することが難しい。	長期休みなどを利用して保護者様同士の交流の場を設けて気軽に足を運んでもらえるようなプログラム、イベントを提供していく。
3	定期的なブログ更新や情報発信	ブログ作成の時間の確保、発信情報の収集	日々の業務内容、役割の見直しをしてブログ作成時間の確保、情報収集に努める。